

授 業 科目名	【 G 】	教育相談	区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	教育相談				【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独		教員の免許状取得のための必修科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法						
サブ タイトル	中・高等学校における教育相談概論と方法				担当者	生稲 勇		
授業概要	【概要】	新型コロナウイルスによる行動制限は、中学生や高校生の生活にも大きな影響を与えた。共に支えあう体験が不足し、「個」として、「話さず」「向き合わず」の体験ばかりで、内向的な生徒が多くなった。学校現場では、そんな生徒たちに、集団の中で支えあうことで、個々の課題を解決していく「開発的な教育相談」が必要になっている。「開発的な教育相談」の理論や実践演習、予防・治療的な「カウンセリング」の技法など、学校で行う教育相談について学ぶ。						
	【到達目標】	「開発的な教育相談」及びカウンセリングの理論や技法について理解し、実際に学校現場で実践できるようになる。いじめや不登校等の予防や解決策を理解し、応用できるようになる。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【○】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	教育相談においては、社会心理学、脳科学の領域について言及する。とくに「いじめ」については実験心理学などの事例を活用してわかりやすく授業をすすめていくため、「心理学」、「教育心理学」及び「学習・発達論」を履修することを推奨する。							
教科書	必要によりプリントを用意する							
参考書	文部科学省『生徒指導提要(令和4年12月改訂版)』							
評価方法	① 授業への参加態度や演習への姿勢による評価 (50%) ② 課題、授業レポート及び提出論文による評価 (50%)							
フィードバック 方法	提出された論文に対して、コメントを付し返却する。							
評価基準	① 授業時間の3分の1以上欠席した者は、論文提出の資格を失う。 ② 授業内容についてよく理解し適切に表現できた者には「A」(特に優れた者には「S」)を、理解や表現に不適切な点がある者には、その程度により「B」または「C」を、理解自体が不十分な者には、その程度に応じて「D」または「E」とする。全く出席しないなど判定不能な者は「F」とする。							

授 業	【 G 】	教育相談	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	教育相談			【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス＝教育相談概論 学校現場の今日的課題 予防的教育相談・開発的教育相談・治療的教育相談について						
	予習：	学校教育相談について予習する		復習：	学校現場における今日的課題について整理する		
2	生徒指導と教育相談、生徒指導提要の中の教育相談について						
	予習：	生徒指導提要を読む		復習：	生徒指導と教育相談について整理する		
3	開発的な教育相談① アイスブレイクの理論と演習(グループワーク ロールプレイ)						
	予習：	アイスブレイクの手法について調べる		復習：	アイスブレイクの流れについて整理する		
4	開発的な教育相談② ディ・インヒビタイザーの理論と演習(グループワーク ロールプレイ)						
	予習：	羞恥心を克服する方法について考える		復習：	ディ・インヒビタイザーについて整理する		
5	開発的な教育相談③ トラストの理論と演習(グループワーク ロールプレイ)						
	予習：	信頼関係を構築するための手法を考える		復習：	トラストの流れ、注意点について整理する		
6	開発的な教育相談④ ファシリテータ演習(PBL)						
	予習：	3～5の内容について確認する		復習：	ファシリテータとしての振り返り		
7	予防的な教育相談 観察・傾聴(ロールプレイ)						
	予習：	傾聴について調べる		復習：	予防的な教育相談の必要性をまとめる		
8	治療的な教育相談 カウンセリング概論・演習(ロールプレイ)						
	予習：	カウンセリングの発達の歴史を考える		復習：	カウンセリング発達の歴史をまとめる		
9	教育相談の事例研究 インシデントプロセス法(グループワーク 対話・議論型授業)						
	予習：	事例研究の方法について調べる		復習：	インシデントプロセスの流れをまとめる		
10	学級担任が行う教育相談 いじめへの予防と対応 生徒指導と連携(対話・議論型授業)						
	予習：	担任としてどういう教育相談をするか考える		復習：	担任が行う教育相談について整理する		
11	多様性の理解と支援 マイノリティ・発達障害・ギフテッド(対話・議論型授業)						
	予習：	発達障害の定義と課題について調べる		復習：	多様性への対応についてまとめる		
12	保護者との連携・スクールカウンセラーや外部機関の活用						
	予習：	SCや外部機関について調べる		復習：	SCや外部機関の活用方法について整理する		
13	事件・事故・災害時の教育相談(対話・議論型授業)						
	予習：	過去の事件・事故・災害について調べる		復習：	事件・事故・災害時の対応についてまとめる		
14	チーム学校としての不登校・リストカット等の支援(対話・議論型授業)						
	予習：	不登校生徒の状況について調べる		復習：	チーム学校の意義についてまとめる		
15	教育相談の年間指導計画の作成						
	予習：	学校における教育相談計画について調べる		復習：	年間指導計画のあり方について整理する		
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。						